

GLOBALG.A.P.導入セミナーin北海道のご案内

G.A.P.とは、Good Agricultural Practice（適正農業規範）の略であり、GLOBALG.A.P.は今や世界共通の基準です。全世界農業者の共通のテーマでもある「食の安全リスクの低減」「労働安全」「人権の保護」「環境保全と生態系の維持」の実践を通して「食の安全と持続可能な農業」の実現に向け、東京オリンピック3年後に控えた今こそ、GLOBALG.A.P.を導入する絶好の機会です。ご参加をお待ちしております。

▼日時：2017年11月15日（水）12時30分～17時30分（11時30分より受付）

▼会場：TKPガーデンシティ札幌駅前 カンファレンスルーム5D+5E

- JR 札幌駅 南口より徒歩5分
- 札幌市営東西線 大通駅 札幌駅前通地下歩行空間
1番出口より徒歩2分
- 札幌市営南北線 さっぽろ駅 13出口より徒歩2分
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19番
TKP札幌ビル 5F（事務所：4F）
TEL：011-600-2609
011-252-3165（事務所直通）



TKPガーデンシティ札幌駅前
北海道札幌市中央区北2条西2-19
TKP札幌ビル内
(会議室受付1F/ご宿泊受付6F)

▼主催：株式会社アグリインキュベーター
一般社団法人GAP普及推進機構

▼共催：イオンコンパス株式会社

▼プログラム

第1部 GLOBALG.A.P.の目指すもの 12:30～14:30	
①GLOBALG. A. P. 導入セミナー開催の挨拶	藤井滋生（株式会社アグリインキュベーター代表）
②グローバルGAPとは	横田敏恭（一般社団法人 GAP 普及推進機構 理事長）
③GAPの取組への支援について	栗原 真（農林水産省 農業環境情報分析官）
④グローバルGAPの歩み	今瀧博文（一般社団法人 GAP 普及推進機構 専務理事）
⑤日本の農産物の輸出の現状と今後	高橋千秋（日本農産物輸出組合 理事長）
質疑応答10分	
～休憩10分～	
第2部 GLOBALG.A.P.の実践事例紹介（取得のポイント）14:45～17:30	
⑥北海道における実践事例(仮)	高橋昌司（JA北ひびき農業協同組合）
⑦北海道初！高校でのGLOBALG. A. P. 取り組み事例	大和田 愛（北海道士幌高等学校 教諭）他 生徒
⑧イオン農場におけるGAPの取り組み	福永庸明（イオンアグリ創造株式会社 代表取締役社長）
⑨北海道でのグループ認証事例・GAPIによる経営改善	梅津国英（一般財団法人北海道農業企業化研究所）
質疑応答10分	
⑩クロージングノート	藤井滋生（株式会社アグリインキュベーター代表）

※内容は一部変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。

▼参加費：8,000円（資料代含む） ▼応募人数枠：100名 先着順

▼問い合わせ：（株）アグリインキュベーター代表 藤井滋生（GAP 普及推進機構理事 TEL/FAX 03-6661-2234）

▼申込方法：右記URL申込みフォームからお申込みください。 <https://goo.gl/forms/RNEgvR2niufok11>

フォームがご利用出来ない方は、下記内容をご記入のうえ、メールにてお申込みください。

①氏名 ②会社名 ③メールアドレス ④電話番号 ⑤領収書の有無及び宛名

E-MAIL agriseminar.jimukyoku@gmail.com 締切：11月10日(金)

（同一会社にて複数名でのご参加の場合は、参加者全員の氏名・メールアドレスの記載をお願い致します。）

↓こちらからもお申込み出来ます↓

